

「天気」掲載記事の電子アーカイブに関わる著作権委譲について

2007年3月5日 日本気象学会理事会

日本気象学会では創立125周年記念事業の一環として「天気」の掲載記事を第1巻まで遡って電子化して保存・公開すること（電子アーカイブ）を計画して参りましたが、この度、電子化の作業が順調に終わり、2007年4月1日より公開を行なうこととなりました。

1993年以前の「天気」には著作権の記載が無く、従って、この期間の論文の著作権は著者にあります。このため、気象学会理事会では、2006年3月8日付けで「1993年以前の「天気」掲載論文の著作権の学会への委譲についてのお願い」を「天気」53巻4号に掲載すると共に、気象学会ホームページにも掲載して参りました。しかしながら、本件に関して、これまで著作

権委譲を拒否する方は無く、また、電子アーカイブ事業への異論も聞かれませんでした。

このような簡便な方法の場合、法律的には、著作権の委譲が完了したとはいえません。しかし、多くの方が電子アーカイブの実現を望んでおり、著者の皆様からもその意義をご理解いただけるものと考えています。以上の理由で、日本気象学会では電子アーカイブを実施することにいたしました。なお、電子アーカイブを希望されない1993年以前の記事については、公開後であっても、電子アーカイブより削除しますので、気象学会事務局宛、お知らせください。